

平成29年 6月14日

由利本荘市長 長谷部 誠 様

岩城まちづくり協議会
会長 渡部 秋美

提言書（岩城まちづくり協議会）の提出について

初夏の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、岩城まちづくり協議会では2つの部会を設置し、平成27年度よりそれぞれ協議を重ねてまいりました。

この度、別紙のとおり提言書を作成いたしましたので、由利本荘市まちづくり協議会条例第3条第2項に基づき提出いたします。

本提言を関係部局等でご検討いただき、市政運営にご反映いただきますようお願い申し上げます。

岩城まちづくり協議会提言書

【地域振興・教育部会】

岩城小学校は、松ヶ崎、亀田、道川の各小学校が統合され、平成26年4月に亀田赤平地域に創設された小学校です。28年度児童数は240人（松ヶ崎地区34人、亀田地区74人、道川地区132人）です。

岩城中学校は亀田、道川の中学校の統合により、昭和57年4月に岩城二古地域に創設されましたが、岩城小学校の統合に合わせて学区が拡大され、現在に至っています。28年度生徒数は138人（松ヶ崎地区19人、亀田地区33人、道川地区88人）となっております。

岩城小学校が統合されてから3年目になり、地域資源を活用しながら、学校教育目標である「夢と希望を持ち、目標に向かってチャレンジする子ども」に着実に一步一步前進していると思われまます。今後、より良い学校を目指すために、次のような提言をし、環境整備を図っていただきたいと思っております。

1. 松ヶ崎地区児童全体のうち、岩城小学校へ73.3%、岩城中学校へ73.9%が入学している状況の中、父兄の交流はある程度あるものの、地域住民の交流が少ない状況であります。

行政区等の違いはありますが、行政協力員を始め、児童民生委員会などの役職就任者の情報交換や、公民館行事・スポーツ大会での交流を通し、もっと地域間の親睦を深める場を広げる取り組みをご検討いただきたい。

2. 「松ヶ崎八幡神社（文化庁より国指定文化財に指定）」を始めとする、松ヶ崎地区住民から護られてきた文化や伝統行事などを地域観光ルートに取り入れ、現在小学生が行っている「まち案内人」（亀田地域）に加え、松ヶ崎地区を含めた観光ルート案内人を育成したらどうか。

3. 小学校・中学校行事等への住民参加の呼びかけや、岩城小・中学校生に関する記事の広報について、行政広報・松ヶ崎支所だよりなどを活用し、松ヶ崎地区にも広く呼びかけや情報発信を図ったらどうか。

4. 学校だより等、広報と一緒に配布について、行政の横の連携をもっと密にし、学校負担が軽減できるよう、協力していただきたい。

【観光部会】

平成28年度、NHK大河ドラマ「真田丸」の放映に伴い、天鷲村への入込客を含み本地域亀田地区へ多く誘客が図られております。しかしながら、各施設・拠点ごとに見た場合、誘客は直接関連のある仏閣等に限り、岩城地域全体への波及効果という観点からは今後更なる取り組みが必要であると思われれます。

観光を主体として「まちづくり」を推進するためには、「人の流れ」をつくるとともに、観光に関わる産業を創出することが極めて重要であり、その端緒として次のような提言をし、一層の観光誘客を図っていただきたいと思っております。

1. 観光テーマごとのモデルコース作成

①歴史と町並みを歩くコース

- ・亀田地域のまち歩き
- ・君ヶ野地区と山中観音を歩くコース
- ・三嶽神社と八郎館を歩くコース など

②体験活動を主としたコース

- ・ぜんまい織りや竹細工など
- ・キリタンポづくりや地獄うどんづくり

③トレッキングを用いたトレイルコース

- ・不動滝より観音森散策
- ・大野城より赤尾津城
- ・新沢より駒泣かせ越え、上蛇田コース ほか

2. モデルコース実施に伴う施設・環境整備

- ①歩道を含む道路整備（駐車場含む）の促進を図る。
- ②遊歩道と立て看板等の整備促進を図る。
- ③不動滝周辺の環境整備と景観保全を行う。
- ④妙慶寺宝物殿の宝物について、将来的な保存を視野に入れた適切な管理環境整備について検討する。
- ⑤天鷲郷周辺の老朽施設解体を含む街並み景観の保全を促進する。

3. 講師（指導者）の育成と研修

- ・ボランティアグループの法人化
- ・育成に係る「指導場所」の確保

4. アピールのための販売促進と他業者との連携

5. 岩城アイランドパークを活用した販売促進

- ・オートキャンプ場（コテージ）宿泊機能の活用による亀田地区観光との連携と、相乗的なレストラン、温泉、売店、産直の売り上げ向上